

「義」の精神を次の世代へ

■問合せ…謙信公祭協賛会事務局(観光振興課内、☎025-520-5741)

戦国時代を代表する武将・上杉謙信公の武勇と遺徳を讃えしのぶ「謙信公祭」は今年、記念すべき第100回を迎えます。今号では、謙信公祭のこれまでの歩みを振り返るとともに、祭りや春日山城跡を次世代へつなぐさまざまな取り組みを紹介します。



上越観光 Navi



「謙信公祭」百回の軌跡をたどる

■問合せ…上越市公文書センター(☎025・528・3110)

謙信公祭のはじまり

大正15年(1926)、当時の高田市長であった川合直次は、2年後に迎える謙信公の没後350年に向け、その遺徳をしのぶ祭典の開催を思案していたところ、高田市連合青年会から「謙信公祭」の開催について提案を受けました。これを契機として、高田市・直江津町・春日村の3つの青年団が主催する形で、同年、第1回の謙信公祭が開催されました。開催日は9月13日。これは、謙信公が天正5年(1577)、能登出陣の中で詠んだとされる「九月十三夜」の詩にちなんでいます。春日山神社を中心に夕方から行事が繰り広げられ、玉串奉奠などの祭典や川合市長などによる講演会、さらには剣舞、歌や踊り、相撲や仮装行列などの余興が行われました。午後10時頃には若者たちが盆踊りを始め、深夜まで祭りを楽しむ人もいました。当時の「高田新聞」や「高田日報」では、祭りの盛況ぶりと地域の人々が喜ぶ様子が報じられています。

毎年恒例の祭りへと定着



昭和50年(1975)、第50回開催時に高田の市街地を練り歩く出陣行列

翌年の第2回も9月13日に開催され、第3回は「謙信公没後350年祭」として昭和3年(1928)10月26日、27日の2日間で開催されました。この年は、同じく26日の信越本線「春日山駅」開業と重なり、春日山一帯が大いににぎわいました。その後の開催は、ほぼ毎年9月13日が続き、昭和39年(1964)以降は、農繁期を避ける目的で8月23日に変更されました。昭和44年(1969)には、NHK大河ドラマ「天と地と」の放送によって春日山城や謙信公が全国的に注目されたことから、特別に8月23日、24日の2日間の開催となりました。

謙信公祭 百回の歩み

平成7年
(1995)

「のろし上げ」開始



昭和55年の献納米合戦

昭和52年
(1977)

「献納米合戦」開始



昭和48年の出陣行列

昭和46年 (1971) 昭和44年 (1969) 昭和36年 (1961) 昭和20年 (1945) 大正15年 (1926)

高田市と直江津市が合併し上越市が誕生

NHK大河ドラマ「天と地と」放送

「出陣行列」開始

終戦(戦争中も途切れることなく開催)

「第1回謙信公祭」開催

今も語り継がれる謙信公の義

■問合せ…魅力創造課 (☎025-520-5739)



魅力創造課
西森 主任

より多くの人に
謙信公の魅力
を知っていただ
きたいです。

謙信公は、日本の戦国史にその名を刻む武将の一人であり、「義」の精神を伝える逸話は、「上杉謙信伝」や「日本外史」など、江戸時代以降に書かれた伝記でもたびたび取り上げられ、現代にまで語り継がれています。

代表的な逸話として広く知られているのが、敵対していた甲斐の武田信玄を助けた「敵に塩を送る」話です。敵方の武田信玄が駿河の今川氏真から塩を断たれ窮地に陥った際、謙信公は「争うのはあくまでも武力であり、生活必需品を奪うようなことはしない」と言って、信玄に塩を送り助けました。この行動は、義理と正義感に満ちた謙信公の人柄を象徴しています。さらに、死を前にした信玄が息子の勝頼に対し「いざとなれば謙信を頼れ」と語り、敵対していた相模の北条氏康も謙信公を「義理を通す人物」と評したという逸話も、戦乱の時代において謙信公の人柄がいかに称賛されていたかを物語っています。

謙信公はその生涯を通じ、多くの人々の尊敬を集めたのみならず、死後も義を表す人物として今日まで語り継がれています。このような謙信公の精神を引き継いだ先人たちが、春日山城跡を守り、100年の間、一度も途絶えることなく謙信公祭を受け継いできました。



昭和58年(1983)、第58回開催。林泉寺山門の前にて謙信公や家臣に仮装する皆さん

行事の変遷

謙信公祭が始まった昭和初期に人々の注目を集めた行事は、市内の各地域に伝わる伝統文化・芸能の披露でした。

昭和46年(1971)に高田市と直江津市が合併し上越市が誕生すると、高田、直江津の中心市街地が会場となりました。昭和51年(1976)には、第1回「上越まつり」の一環として、高田、春日山、直江津の各地区を会場に7月中に開催されました。その後は再び8月開催に戻り、現在の祭りは8月下旬の土・日曜日となっています。

その名残として現在も「大民踊流し」が行われています。

謙信公祭のメインイベント「出陣行列」は、昭和36年(1961)に初めて、祭りのハイライトとして行われました。このほか、昭和52年(1977)には「献納米合戦」が、平成7年(1995)には春日山城本丸跡と支城・砦跡とを結ぶ「のろし上げ」が始まりました。平成12年(2000)からは、春日山城史跡広場を会場に「川中島合戦の再現」も行われています。

第100回の節目を迎える今年も、これらの行事がにぎやかに開催されます。

公文書センター出前展示のお知らせ

公文書センターの資料から謙信公祭100回の歩みをたどります。昔の写真や新聞記事などから、謙信公祭の移り変わりを感じてみませんか。

▶と き…8月9日⑤～31日⑥午前10時～午後8時
※休館日=8月4日⑤、12日⑥、18日⑥、21日⑥、25日⑥

▶ところ…高田図書館

令和7年 (2025) 平成21年 (2009) 平成17年 (2005)

平成12年 (2000)

「第100回謙信公祭」開催

NHK大河ドラマ
「天地人」放送

14市町村が合併し
新たな上越市が誕生



平成13年の川中島合戦の再現

「川中島合戦の再現」開始